

# 今こそ長期投資家の胆力が試される

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市場の下落から、いま2極化したお客さまの動きが存在します。

一つは絶好の仕込みどきと、元気に買付けされる方。

他方、コツコツと積み上げてきた投資信託を解約して「セゾン号」から下車してしまう方々です。

このところの報道を見ていると、不安な気持ちになってしまうのはよくわかるのです。

アメリカの緊急事態宣言、フランスの外出禁止令と新型コロナウイルスの感染はアジアから世界へ急速に広がりました。そして、リーマンショックの時は、金融機関の経営破綻に陥ったことがきっかけで経済に悪影響を与えましたが、今回は感染病拡大予防のための様々な経済活動の自粛が経済を脅かそうとしています。

## 下落相場で真価を発揮するのが積立投資の醍醐味

運用14年目に入ったセゾン投信には、リーマンショックに耐え、資産を増やしてきた受益者の皆さまとの運用記録が残っています。

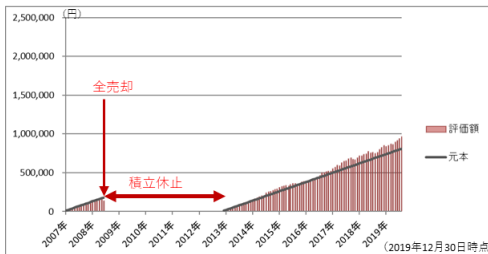
定期積立プランで2007年5月から2019年12月まで毎月1万円ずつ積立投資をしてきた2人の方の事例を2019年12月末時点で対比してみましょう。

**【Aさん】**リーマンショックに怯え、それまで積み立ててきた投信を全て損切りした上に積立も止めてしまい、基準価額が1万円に戻った2013年4月に積立を再開しました。

**【Bさん】**リーマンショックにもめげず積立を続けました。

### セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドの場合

Aさん【リーマンショックで怖くなって…】



積立金額180,000円の時に

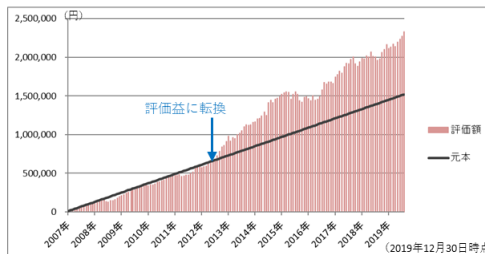
**全売却**  
売却損 -43,761円

再開後積立金額 810,000円

↓  
評価額 974,278円  
+164,278円

2008年10月に全売却し、積立休止（2008年10月～2013年3月）  
2013年4月（基準価額が1万円回復したので）から再開

Bさん【めげずに続けていたら】



積立金額 1,520,000円

↓  
評価額 2,349,226円  
+829,226円

**【Aさんの結果】**

含み益は16万4,278円

**【Bさんの結果】**

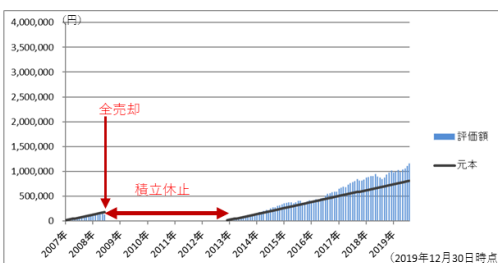
含み益は82万9,226円

Aさんの約5倍！

Aさんは、リーマンショックで全売却した時に、損失を出しているの、それを考慮すると、Bさんの含み益は約7倍にまでひらきます。

### セゾン資産形成の達人ファンドの場合

Aさん【リーマンショックで怖くなって…】



積立金額180,000円の時に

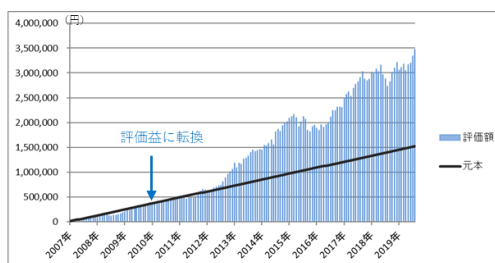
**全売却**  
売却損 -58,437円

再開後積立金額 810,000円

↓  
評価額 1,158,458円  
+348,458円

2008年10月に全売却し、積立休止（2008年10月～2013年3月）  
2013年4月（基準価額が1万円回復したので）から再開

Bさん【めげずに続けていたら】



積立金額 1,520,000円

↓  
評価額 3,509,204円  
+1,989,204円

**【Aさんの結果】**

含み益は34万8,458円

**【Bさんの結果】**

含み益は198万9,204円

（Aさんの約5.7倍）

Aさんは、リーマンショックで全売却した時に、損失を出しているの、それを考慮すると、Bさんの含み益は約6.8倍にまでひらきます。

これが下落相場でこそ真価を発揮する積立投資の醍醐味です。

そして、今回も長期投資家として、積立額の積み増しやスポット買いをしている方が数多くいらっしゃいます。

まさに、今こそ長期投資家の胆力が試されるところです。  
改めて株価がどのように形成されているかを考えてみましょう。

株価＝一株当たり利益（EPS）×株価収益率（PER）

ですので、単純化して考えれば、株価＝利益×人気と考えることができます。

人気の部分は、今、感染拡大の不安と世界経済の停滞懸念から急降下しているわけです。

では、今回の騒動で企業が利益を出せない時代が来るのかということ、それは違ふと断言できます。たしかに、航空会社や観光産業などには厳しい時期が続くかもしれませんが、マスクやトイレットペーパーなど生活必需品を作っているメーカーには、特需となっています。

「百年に一度の危機」と言われたリーマンショックの時も東日本大震災の時も2年後には大体の上場企業は再び利益を増加させる局面に戻ったことを私たちは歴史からの教訓として学ぶことができます。

そんな背景の中でお客さまが長期投資を志す集団である「セゾン号」から降りてしまうということは、世界の企業や国を応援するのではなく、世界経済の収縮や企業経営の悪化に寄与してしまうことにすらなりえるのです。ひとりひとりの力は小さいものですが、セゾン投信は、おかげさまで、先日、預かり資産総額が3,000億円となりました。みんなで力を合わせることで3,000億円分、投信保有を通じ資本家として経済（経済の語源は「経世済民＝世の中をよく治めて人々を苦しみから救うこと」）に貢献できる存在になってきたのです。

それが市場の下落局面に入ったために、「セゾン号」から下車してしまうというのはとても残念なことです。さらには、投資家はこのような時にリスクをとるからこそ後にリターンを得られるのが資本主義だと理解していれば、ここで投資から降りてしまうのは勿体ない話です。

## 「セゾン号」で引き続き本格的資産育成を！

当社は、皆さまが「セゾン号」での長期投資の旅を続けた結果として、将来の幸せを実現していただくために存在しています。一日でも長く、長期投資家を続けていただくことを切に願っております。

### ご留意事項

当資料は情報提供を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

#### 投資信託に関するリスクについて

##### ◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド（以下、当ファンド）はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

##### ◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

#### 投資信託に関する費用について

##### ◆投資者が直接的に負担する費用

○購入時手数料：ありません。

○信託財産留保額：換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

##### ◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

##### ○運用管理費用：

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.506%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.57%±0.02%程度（税込）となります。

セゾン資産形成の達人ファンド

ファンドの日々の純資産総額に年0.583%（税抜0.53%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%程度（税込）となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

#### 当資料で使用しているデータ等について

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

#### 積立について

積立による購入は将来における収益の保証や、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。また、値動きによっては、積立よりも一括による購入の方が結果的に有利になる場合もあります。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会